

旧白洲次郎山荘と蔵王を語るミニフォーラム (Zao Project MJ)

1951年（昭和26年）に東北電力会長に就任した白洲次郎は、当時の県知事、山形市長に蔵王を「東洋のサンモリッツにしよう」と提案、助言を受け蔵王ロープウェイが建設されました。また、自らも蔵王スキー場にスキーロッジ「ヒュッテ・ヤレン（現三宅山荘）」を建てましたが、木造二階建て約70㎡の山荘は築60年が過ぎ、老朽化が目立つようになりました。

蔵王のみならず、山形市及び山形県の歴史・文化的財産として、この「ヒュッテ・ヤレン（現三宅山荘）」の保存・活用を目的とした募金活動を展開するにあたり、建物内外について3度、建築・造園の専門家を東京から招き診断しました。「旧白洲次郎山荘と蔵王を語るミニフォーラム」では、これまでの経緯と現状をご説明して、今後の活動について広く皆様からのご意見をお聞きしたいと考えております。

- ・ 開催時期：2011年12月10日（土）
- ・ 開催時間：13:30～16:30（受付時間：12:30～13:20）
- ・ 開催場所：蔵王体育館会議室（無料駐車場有）
- ・ 参加費用：蔵王住民の方は無料、一般：¥1,000（資料代）



企画主催：NPO法人元気・まちネット／東京、
開催協力：蔵王温泉観光協会、白洲次郎を語る山形の会、三宅山荘
後援：山形県、山形市、山形新聞社・山形放送

ヒュッテ・ヤレン(三宅山荘)を持つ蔵王は、山形市のみならず山形県の歴史的・文化的価値としても(話題性に於いても)高い資産(資源)と位置づけられると確信します。

築60年が経過してこのまま老朽化していくことに危機感を持ったNPO法人「元気・まちネット」は、現オーナー/三宅氏の承諾を得て、「ヒュッテ・ヤレン(三宅山荘)」の保存・活用運動に向けた募金活動を展開するに至りました。

近い将来「ヒュッテ・ヤレン(三宅山荘)」に蔵王や白洲次郎に関する資料を展示、多くの皆さんに開放、窓外に広がる新緑や紅葉を愛でながら珈琲を楽しめる展示館として、白洲次郎の建てた山荘を後世に語り伝えて行きたいと考え、このミニフォーラムを開催するに至りました。

皆様の暖かいご支援、ご指導をお願いいたします。

【スケジュール】 12月10日(土)		(司会進行:佐野千晶/NPO法人元気まちネット)
13:30 ~ 13:40	開会の挨拶	蔵王温泉観光協会
13:40 ~ 14:10	フォーラム開催の趣旨	矢口正武
14:10 ~ 15:00	白洲山荘の歴史・意匠・構造	大原彰氏、萩生田秀之氏、二瓶渉氏
15:00 ~ 15:20	ミニフォーラムのまとめ	塩田能也氏
—— 休憩10分 ——		
15:30 ~ 16:30	パネルディスカッション	
	三宅山荘、蔵王温泉観光協会、白洲次郎を語る会、一般参加者他	
	司会進行:矢口正武(NPO法人元気・まちネット)	
17:30 ~ 19:30	懇親会 (希望者のみ、オプション参加費:¥3,000-くらい、会場未定)	

企画主催:NPO法人元気・まちネット/東京、

開催協力:蔵王温泉観光協会、白洲次郎を語る山形の会、三宅山荘

後援:山形県、山形市、山形新聞社・山形放送

- ・申込締切:11月25日(金)、(但し、定員(70~80名)になり次第締め切ります)
- ・申込方法:住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記の上、NPO法人元気・まちネット
Fax:03-3829-4692 または、Mail:yaguchi.m@so-kk.jp にお申込み下さい。
(担当:矢口) ※電話での受付はしていません。

お名前		年齢		性別	男・女
ご住所	〒				
お電話		メール			